

事業の背景及び必要性

妙高大橋は、昭和47年（1972年）に架設されたPC4径間連続箱桁橋で建設から約40年が経過しています。

平成21年の橋梁補修工事の際に、橋梁の上面から侵入した水が原因でコンクリート桁内に配置されているPCケーブルが腐食・破断していることが発見されました。

現在、妙高大橋は、緊急・応急対応として補強ケーブルの設置、橋梁上面の防水対策、精密機器による橋梁の監視強化及びPCケーブルの定期的な調査等を行い、橋を通過する交通の安全を確保しています。

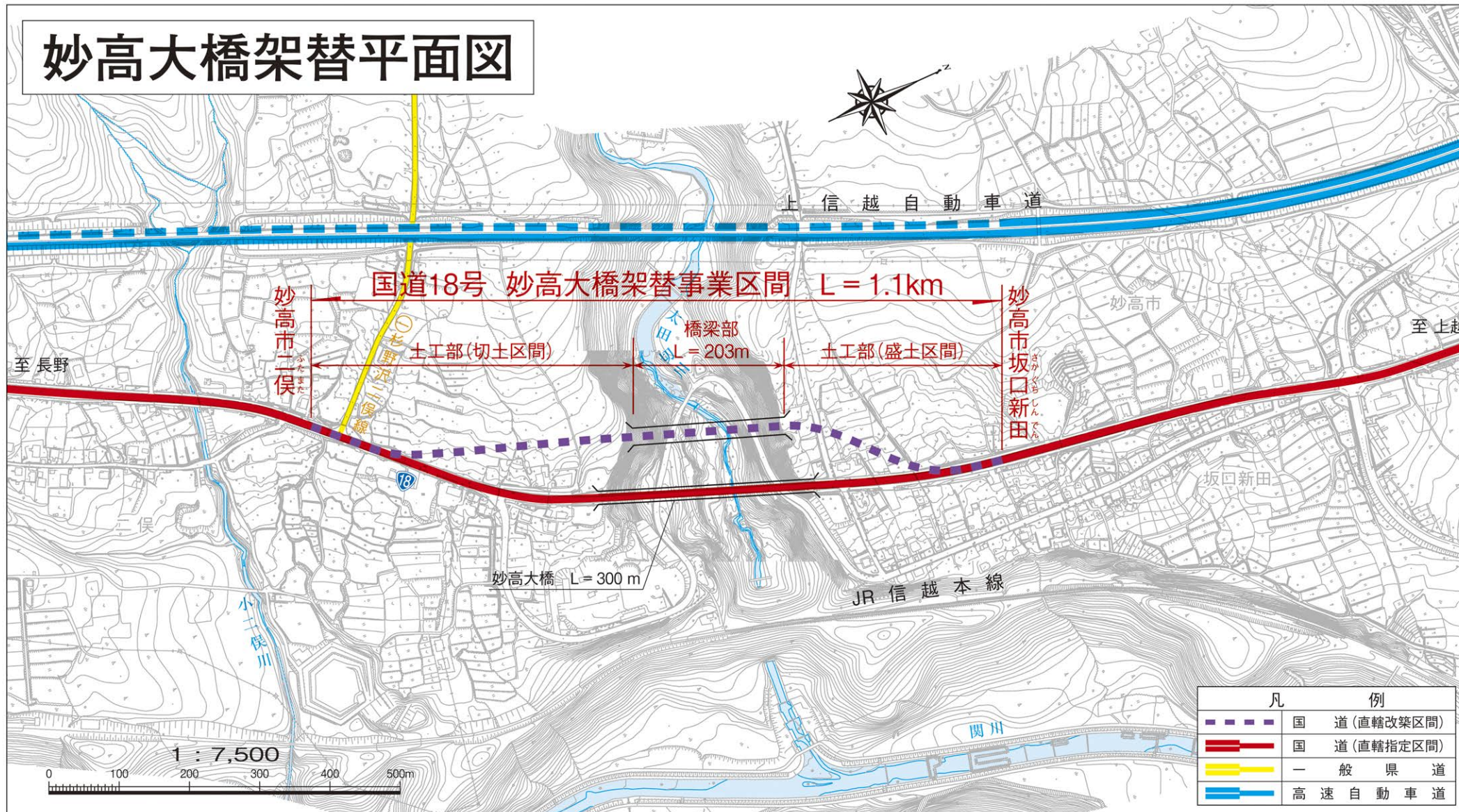
今回、将来への恒久的な安全性を確保するため、現況の妙高大橋を新橋に架替を行うものです。



事業の経緯

平成21年12月	橋梁補修工事でPCケーブルの異常発見
平成22年 2月	保全検討委員会設置
平成23年度	応急対応実施
平成24年度	事業化

妙高大橋架替平面図



計画の概要

路線名	国道18号
起点・終点	妙高市二俣～坂口新田
延長	L=1.1km
道路規格	第3種第2級
標準幅員	一般部 二俣地区 W=13.5m 坂口新田地区 W=16.0m 橋梁部 W=11.5m
橋梁形式	2径間連続非合成鋼トラス橋

完成予想図



※橋梁はイメージであり、決定したものではありません。

